

# 田代よいとこ - その35 - 田代小は山林地主だった？！

## 田代小も学校林を持っていた？！

田代小が学校林<註1>を持っているのをご存じでしたか？昨年10月に全国学校林現況調査がありました。この機会を捉えて本校の学校林について調べてみました。

【名称】田代小学校林  
【面積】0.16ha  
【学校との距離】8km  
【学校林設置年】明治38年(1905)2月1日<註2>  
【おもな樹種】桧(ヒノキ)<註3>  
【所有者】学校設置自治体(公立学校の場合)つまり愛川町  
【管理者】愛川町森林組合

<註1>学校林とは学校が保有する森林のこと。2006年時点で全校の学校の約8%が所有しています。日本での学校林は、明治28年(1895)に来日したアメリカの教育家ノースロップが、アメリカの植樹運動「アーバーディ(愛林日)」を紹介したことから始まりました。明治36年には、全国2023校が学校林活動を実施しています。

<註2>日露戦争の記念に学校林の植栽が始まったようです。さらに明治41年3月法華峰(ほっけみね：勝楽寺の裏山)の共有地に杉、松95,900本を植えたという記録があります。のち、大正14年11月10日には、関東大震災で川に押し流された流木と学校林から間伐した杉80本を使って、新校舎が落成しました。昭和58年には伐りだした杉を使って運動会の入退場門も作りしました(覚えている方も多いことでしょう)。学校林の多くはこのように、学校の校舎や施設の建設に使われたようです。

<註3>最初は杉が多かったのですが、30数年前の大雪で多くが倒れ、その後桧をおもに植えるようになりました。経済的にも桧の方が有利なようです。

## 田代小学校林はこんなところ

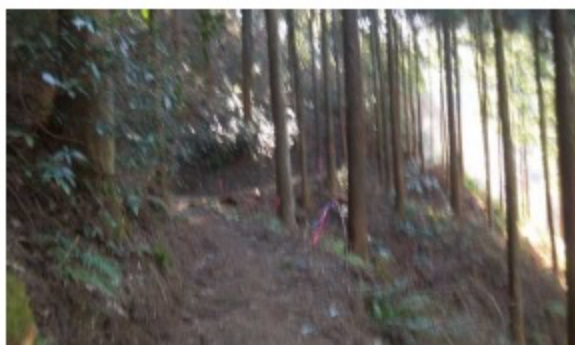
かつてはPTA会員や教職員も下草刈りなどに汗を流したそうですが、現在は愛川町森林組合に管理をお願いしています。同組合の大野晋作さんの案内で、現地を見に行きました。



①



②



③



④

①南山林道に車を止め、左側の沢を降りていきます。②沢に架かる木の橋(一部腐っています)を渡ります。③学校林までの道。歩きやすいです。道幅は約1.5m。④これが田代小学校林。けっこうりっぱです。北向き斜面です。

【参考文献】『愛川町郷土誌』(愛川町教育委員会 昭和57年3月)

『目で見ると110年』(目で見ると110年編集委員会 田代小学校、田代小PTA 昭和59年11月)

【取材協力】大野晋作さん(愛川町森林組合)